



MDP

2023 明治安田生命 J1 LEAGUE

2023明治安田生命J1リーグ第19節
@ 駅前不動産スタジアム

MATCHDAY PROGRAM
サガン鳥栖オフィシャルマッチデープログラム

2023 Season | Vol. 13

Sagantosu

07.01 [SAT]

19:00 KICK OFF
VS 浦和レッズ



©2001 URAWA RED DIAMONDS

J3から一足飛びにやってきた日本最高峰の舞台。自身初の移籍、そして、自身初のJ1ながら27試合に出場し、シーズンをとおしてチームの戦力となった。しかし、原田亘の自己評価は厳しかった。「去年一年間、多くの試合に出させてもらいました。でも、自分としてはもっと結果を残したかった。ただ、自分はまだ結果を残せるレベルではなかったし、食らいついていくという感じではなかった」。それは自分に求められるものが明確だったからこそ、芽生える感情だった。「自分に求められているのはやっぱり、クロスや前に行くところ。得点やアシストというゴールに関わる部分」。求められるものが明確に数字として表れる部分だったからこそ、試合に出るだけでは原田は満足することはできなかった。

だからこそ、サガン鳥栖2年目を迎える今季、数字への思いはより強くなった。「今年はしっかり結果に意識を向けている。さらに攻撃参加もして、チームの勝利に貢献したい」。「食らいついていく」ことに必死だったシーズンではあったが、一年間戦い抜くことを経験して少なからず、余裕も生まれている。何もかもがむしやだった一年目と比べれば、落ち着いて周りを見ることができるようになった。「より速くプレーすることやタイミングよく中や外でパスを受けるっていうことを意識してやっている」をテーマに掲げ、今季に臨んでいるが、その成果は結果に現れつつある。第9節京都サンガF.C.戦や第18節湘南ベルマーレ戦ではアシストを記録。そのほかの試合でもゴール前で惜しいシュートを放つなどその攻撃的な姿勢は目を見張るものになっている。ただ、アシストはついたがまだゴールはない。そこは原田自身も強く意識している部分だが、「あと少し」の壁に阻まれている。それでも、常に謙虚で努力を惜しまない原田ならばその瞬間がやってくるのもそう遠くはないだろう。求めているゴールという結果を手にしたとき、原田は笑顔とともに一つ上のステージへとたどり着く。

[SAT]

DF Wataru HARADA

42

その瞬間が来るのを信じて。
何度でも駆け上がる。

matchday program presents

サガン鳥栖うれしのday

～ぎゅっと丸ごと嬉野産～